
付録

ボランティアをしよう!

～自分のために、そして誰かのために～

大学生になって「新しいことにチャレンジしたい!」「自分の世界を広げてみたい!」と思いませんか?

ボランティアセンターでは、環境/福祉/被災地支援/まちづくり/国際/教育など、様々なジャンルのボランティア情報があり、学生スタッフも気軽に相談にのってくれます。さあ、ボランティアをしよう!

■学内でのボランティア啓発講座

学内でボランティアをするきっかけになる啓発講座を企画実施しています。



子ども × 学習支援講座



献血啓発企画



手話講座

■学外でのボランティア活動

学外で普段体験できないボランティアを企画実施しています。



富士山自然保護ボランティア



外来生物駆除ボランティア

■地域貢献ボランティア

市ヶ谷キャンパスから徒歩10分圏内で活動するボランティアです。あまり時間がない人、手軽に活動したい人にも向いています。



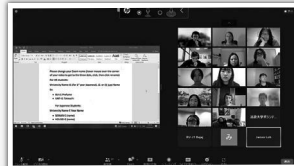
東京メトロ飯田橋駅ボランティア



キャンパス周辺清掃ボランティア

■国際交流ボランティア

日本語を学ぶ海外の学生へのボランティアです。



ペイラー大学日本語ボランティア

■被災地支援・防災関連ボランティア

被災地ボランティアツアー、学生スタッフ企画のスタディツアー、キャンパス内に宿泊する防災キャンプも実施しています。



福島被災地スタディツアー



東北被災地ボランティアツアー



もしもに備える～防災キャンプ



VSP 学生スタッフ募集

ボランティアセンターには、学生スタッフ VSP (ボランティア支援プロジェクト) がいます。教職員と協働し、学部生のために、学内および地域貢献ボランティアなどの企画・実施等を行っています。初心者でも様々なジャンルのボランティア活動ができます。

チーちゃん オーレくん



(チーム・オレンジ キャラクター)

チーム・オレンジ 学生スタッフ募集

チーム・オレンジは、東日本震災の被災地・被災者のために「何かしたい」という学生が集まってできた組織です。被災地支援及び防災全般について、学部生に活動の輪を広げるために教職員と協働し、活動しています。



防災クイズ & ゲーム Day
in ぞなエリア東京

課外教養プログラムに参加しよう!

学生センターでは、法大生の多様なニーズに応えるため、課外教養プログラムを実施しています。

法政大学の HP や学内の掲示板などで随時告知しています。
お申し込みは各キャンパス学生生活課へ!

ボランティア活動についてのお問い合わせは

法政大学市ヶ谷ボランティアセンター
(外濠校舎 1 階学生センター内)

☎03-3264-9516

✉ichigayavc-apply@ml.hosei.ac.jp

法政 ボラセン

検索

<http://www.hosei.ac.jp/volunteer/index.html>

2022年度 実施プログラム



コミュニケーションアップ!
春から始める雑談講座



はじめての点字
～知ってつながる社会の輪～



東京ジャーマイに行く!
～日本におけるイスラム・モスク～



書道入門教室
～あしたから字を書くのがちょっとだけ楽しくなる!～



歌舞伎鑑賞教室

学生スタッフ募集!

- テーマは「スキルアップ」「古典芸能鑑賞」「異文化体験」などと幅広く、いつもの授業とは一味違った体験ができます!
- プログラムの多くは学内で実施するため、授業と授業の間の「空きコマ」を有効に使えます!
- 他学部の学生や留学生と共に学び、交流することができます!

※新型コロナウイルス感染状況によって延期または中止になる場合があります。

2022年度は28のプログラムにのべ約700名が参加しました!



プログラムを教職員と一緒に企画し、運営する課外教養プログラムプロジェクト (KYOPRO) の学生スタッフを募集しています。
キャンパスごとにそれぞれ活動していますが、定期的に合同ミーティングを行っています。学年を問わず、いつでも、誰でも、やりたいと思った時に加入できます。
「自分でプログラムづくりをしてみたい!」という方はもちろん、「ちょっと興味があるな!」という方も各キャンパス学生生活課、または HP までお問い合わせください。



■課外教養プログラムのお申し込み・お問い合わせ

市ヶ谷学生生活課 (外濠校舎 1 階) 03-3264-9475

多摩学生生活課 (EGG DOME2 階) 042-783-2152

小金井学生生活課 (管理棟 2 階) 042-387-6011

■最新情報

大学 HP (ピアネットのお知らせ) より
ご確認ください



学生センターではみなさんの学生生活をサポートしています！

法政大学学生センターでは、他大学には見られない様々なキャンパスライフを充実させる取り組みを行っています！

◎課外教養プログラム

あなたの知的好奇心を満たす場がすぐそばにあります！！

Point
1

正課授業では扱いきれない領域をカバーしています！

2022年度は「東京ジャーミイに行く！～食事・宗教・歴史などのイスラム世界を体験しよう～」という企画を実施しました。本企画は学ぶ機会が少ないイスラム世界について講義を受けた後に、東京最大のモスク「東京ジャーミイ」を見学するという企画で、講義パートの講師には法政大学兼任講師である松本隆志氏をお招きしました。前半の講義パートでは「イスラム教の歴史」や「日本におけるモスク」といったテーマについて講義をして頂きました。参加者はモスク見学の前に、イスラム文化に対する理解を深めることができました。見学パートでは東京ジャーミイのスタッフの方からモスクの成立過程等の説明を聞きながら見学しました。モスク内では、礼拝やイスラム式の結婚式の様子を見学でき、参加学生にとって、とても貴重な経験となりました。

Point
2

参加しやすい！友達が出来やすい！
昨年度はコロナ禍にも関わらず
600名が参加しました。

企画のほとんどは5限以降に実施されているので、授業が終わった後に気軽に参加でき、スキマ時間に楽しく教養を身に付ける事が出来ます。また、全てのプログラムでグループワーク等の実践的な内容を行っている為、他学部の学生と繋がる機会も多くあります。企画に参加し、教養を身に付けるとともに、新たな人間関係の構築にもトライしてみませんか？

◎東京ジャーミイに行く！

～食事・宗教・歴史などの
イスラム世界を体験しよう～



◎書道入門教室

～明日から字を書くのが
ちょっとだけ楽しくなる！～



Point
3

本気で学びたい！と思う学生が、
自主的に受講します。

その名の通り、「課外教養プログラム」は正課外ですので、受講しても単位にはなりません。だからこそ、「学びたい！」という強い意欲を持った学生が自主的に参加します。他学部の学生と一緒に学ぶことで、新たな発見もあるでしょう！

Point
4

「参加者」から「運営者」に！

「課外教養プログラム」に参加して、「今度は自分がプログラムをつくってみたい！」とってくれたあなたには、つくり手(=KYOPROスタッフ)になる道があります！学年は関係ありません。いつでも、スタッフになることができます！

「課外教養プログラム」や「私が教えます！」に参加するには…

掲示板やホームページをチェック!! 参加したいプログラムがあれば、学生センターで応募しよう! (一部プログラムはWeb応募も実施中)



KYOPROスタッフによる
Twitterもやっています!



◎市ヶ谷



◎多摩



◎小金井

■お申し込み・お問い合わせ

市ヶ谷学生生活課(外濠校舎1階)
多摩学生生活課(EGG DOME2階)
小金井学生生活課(管理棟2階)

☎ 03-3264-9475
☎ 042-783-2152
☎ 042-387-6011



■最新情報

URL: <https://www.hosei.ac.jp/gakuseishien//>

◎ボランティアセンターを活用しよう!

ボランティアセンターでは学生の皆様のニーズにより色々な関わり方ができます。
ボランティアに興味のある学生、何かやってみたい学生はぜひボランティアをはじめてみませんか？

POINT
1

ボランティアセンターでボランティア情報を収集しよう!

ボランティアセンターには日々多くのボランティア情報が学外から届きます。その情報を希望者の皆さんにメルマガ形式で日々発信しています。「ボランティアに興味がある。ボランティアの情報を入手したい!」等のご希望がありましたら、ボランティアのセンター (ichigayavc-apply@ml.hosei.ac.jp) まで、「ボランティア情報メール配信希望」の旨をご連絡ください!

POINT
3

学生スタッフになろう!

ボランティアセンターでは「VSP」「チーム・オレンジ」の学生スタッフを年間通して募集しています。ボランティアセンターの学生スタッフは、ボランティアイベントの企画立案・運営を行い、参加者の皆さんと活動しています。所属している学生の学年や学部は様々で、学年や学部を超えて協力しながら活動しています。もし学生スタッフになることを希望される場合は、スタッフについて説明させていただきますので ボランティアセンターまでお気軽にお越しください!

POINT
2

ボランティアセンターのイベントに参加しよう!

ボランティアセンターでは「Hoppii」や学内掲示を通じて、ボランティアセンター主催のイベントをご案内しています。ボランティアセンターで実施されるイベントは学生スタッフが運営しており、様々な種類があります。休みに気軽に参加できる「キャンパス清掃」、「エコキャップ回収」は、友人作りにも最適です。その他にも「富士山の自然保全ボランティア」や「外来魚駆除」など1日かけて行う活動や、「東北被災地ボランティアツアー」、「防災キャンプ」など、被災地支援や防災意識を高める活動もあります。興味がある活動がありましたら、ぜひボランティアセンターの企画に参加してみてください!

担当職員からのメッセージ

ボランティアに興味がある方、何かやってみたいなと思っている方、気軽にボランティアセンターを訪ねてみてください。教職員、学生スタッフ一同、皆さんと活動できることを楽しみにしています!

市ヶ谷ボランティアセンター職員 小原 拓也

富士山自然保全ボランティアにて集合写真



海岸にて清掃ボランティアの様子



ボランティア活動についてのお問い合わせは

法政大学市ヶ谷ボランティアセンター
(外濠校舎 1 階学生センター内)
☎03-3264-9516

✉ ichigayavc-apply@ml.hosei.ac.jp

法政 ボラセン

検索

<http://www.hosei.ac.jp/volunteer/index.html>



課外教養プログラムに参加しよう！

2023年度 春学期 実施報告！



5月23日、課外教養プログラム「急須で味わう日本茶体験」を実施いたしました。

本企画は、私たちにとって身近な飲料である日本茶の種類や効用を学び、実際に急須で味わう体験を通して学生に日本茶の魅力を体感してもらうことを目的として実施いたしました。講師には、NPO法人 日本茶インストラクター協会から安藤茂美様をお招きしました。安藤様は、お茶をテーマにした食育や講習会などを通して日本茶の普及を行っていらっしゃいます。

前半でお茶の歴史・種類・製造方法・効用を解説していただき、後半では実際にお茶を淹れ、飲み比べを行いました。今後の生活で生かせる知識を多く教えていただいたため、参加学生は熱心にメモを取りながら講義を聞いていました。また、本プログラムは、グループでのアイスブレイクや

お茶に関するクイズなどを行ったため、参加者同士の交流も深めることができました。

特に後半のお茶体験では「同じ種類のお茶なのに味わいが違う！」「私はこのお茶が好き！」など、積極的に意見交換する参加学生の姿が印象的でした。普段ペットボトルで飲むことが多いお茶について深く学び、味の違いや自身の好みを共有することは、学生にとってとても貴重な体験になったと思います。

実施後のアンケートでは、多くの学生が「お茶について学ぶだけでなく、実際に体験をすることができて良かった」「今度、家族にお茶を淹れたい」などの回答をいただきました。本企画が参加学生の皆様にとって、日本の伝統であるお茶について理解を深め、今後の生活で「お茶を味わう」「急須で入れたお茶で団欒をする」きっかけになれば幸いです。

人間環境学部人間環境学科2年 山本 汐莉

↓ プログラムの様子



6月16日、課外教養プログラム「これであなたもバッチリ！基礎から学ぶテーブルマナー」を実施いたしました。

本企画は、社会人になるために重要なスキルの一つであるテーブルマナーの知識や実践方法を、カトラリーや皿を実際に用いた演習と講義を経て学ぶ機会を提供することを目的としております。また、参加者には、テーブルマナーの持つ社会生活での重要性を十分に理解し、自分も相手も心地よく食事を楽しむことができるための知見と教養を習得して欲しいという考えから、本企画実施の提案に至りました。

講師には、実践女子大学生活科学部食生活科学科教授であり、食品栄養学研究室を主宰されている白尾美佳氏をお招き致しました。白尾先生は東京都日野市内の中学校にて10年間テーブルマナーについての教室を開講されており、洋食だけでなく、和食マナーや日本の食文化、子どもの食育についても精通されています。

本プログラムは、法政大学内の教室に白尾先生をお迎えし、テーブルマナーについてのミニクイズを楽しんだ後、座学形式で学ぶ講義、実践的な演習、そして白尾先生と参加者による対話形式での質疑応答、という流れで行われました。

まず講義では、テーブルマナーを学ぶ意義やその歴史、コース料理の実際の流れについてお話して頂きました。

白尾先生が経験されたマナーについてのお話を交えながら講義が進み、参加者は資料にメモを取りながら熱心に聞き入っている姿が印象的でした。また実践学習では、レストランに赴いた設定で、1人1セットずつ手元に用意されている紙皿とプラスチックのフォーク、ナイフ、スプーンを実際の食器に代替して使用しながら、カトラリーを使う手順や持ち方、座り方などを総合的に学びました。グループ形式で実施をしたため、参加者はみな活発に意見交換をしながら、主体的に考え、手を動かして学習をしていました。

また、本物の食器やカトラリーを教卓に用意し、グループごとに交代で体験してもらうことで、より具体的なイメージを掴んで貰うことができたと思います。

プログラムは終始和気あいあいとした雰囲気で行われ、終盤に設けられた質疑応答では積極的に質問がなされていました。その際に白尾先生が仰っていた

「食事には相手を思いやる心と楽しむ心が大切である」という言葉は多くの参加者に影響を与え、「テーブルマナーを学ぶ意義を再認識された」という旨の感想が企画終了後のアンケートにも多数寄せられました。

本企画後、テーブルマナーは礼儀としての「型」という役割に留まらず、その先にある食事の喜びやおいしさ、楽しさを感じるために存在するというところに私個人も改めて気付かされました。

大学生から社会人になるにつれ、テーブルマナーが必要となる機会は増えると思います。その際に、本企画で学習したマナーの知識や手順だけではなく、食事マナーを心得る目的を思い出していただければ幸いです。

法学部法律学科3年 宗安 玲衣



→ プログラムの様子



2023 年度課外教養プログラムプロジェクト活動報告書

発行者：法政大学学生センター

住所：東京都千代田区富士見 2-17-1

印刷者：邦美印刷株式会社

発行日：2024 年 7 月 12 日

